

対馬市域学連携地域づくり推進計画【概要版】

基本理念

地域と大学が連携し、相互に学び合うことで、対馬の新たな価値を創造し、持続可能な産業を創り出します。

基本目標

- ◎対馬全体を複数の大学のサテライトキャンパスに見立て、「フィールドキャンパス『対馬学舎』」として域学連携を全島展開し、大学が身近に感じられるような環境を創り出します。
- ◎森里海が連環した豊かな島しょ生態系を持つ対馬の特色、伝統的な知恵や技術を次世代へ受け継ぎながら、雇用を創出します。
- ◎世界に先駆けた域学連携とESD(持続可能な開発のための教育)の拠点として、多様な人々との交流と学び合いを推進し、グローバルな視野と行動力を持った人財を育みます。
- ◎域学連携の成果を対馬市の諸政策に反映します。

3つの重要施策

持続可能な産業づくりの実践

域学連携

付加価値をつける学術研究の実行

地域づくりを担う人財の育成

推進のための10の仕掛

- ① 域学連携地域づくりコーディネーターの登用
- ② アーカイブスの整備 (対馬の魅力・資源、文献資料等)
- ③ ICTの利活用 (ポータルサイトの整備、大学講義の遠隔受講等の実施)
- ④ 学生の実践型教育プログラムの実施 (中長期インターン、実践塾、職業体験インターン、フィールド研究)
- ⑤ 学生の継続的・発展的な関与の機会創出
- ⑥ 地元の担い手育成を推進するプログラムや教育機会の創出 (小中高大連携・世代間交流プログラム、巡回寺子屋、市民大学等)
- ⑦ 学術研究推進のため制度の導入 (学術研究等奨励補助金、市民研究員制度)
- ⑧ 域学連携の成果発表・発信の場:「対馬学会」の設置
- ⑨ 学生の受け入れ支援 (受入施設等整備、オリエンテーション、安全管理、経済負担軽減、出口戦略等)
- ⑩ 海外の大学との連携

域学連携の全体像

基本理念

地域と大学が連携し、相互に学び合いながら、対馬の新たな価値を創造し、持続可能な産業を創り出します。

基本理念 目標の達成

計画の3ステップ

自立的展開期

【H33年度～】

- ・対馬全域で域学連携プロジェクトが自立的(化学反応的)に展開され、成果が蓄積される

発展期

【H29-32年度】

- ・活動滞在拠点对馬全域に整備し、地域と大学のつながりを強化しながら、対馬各地で域学連携を展開する

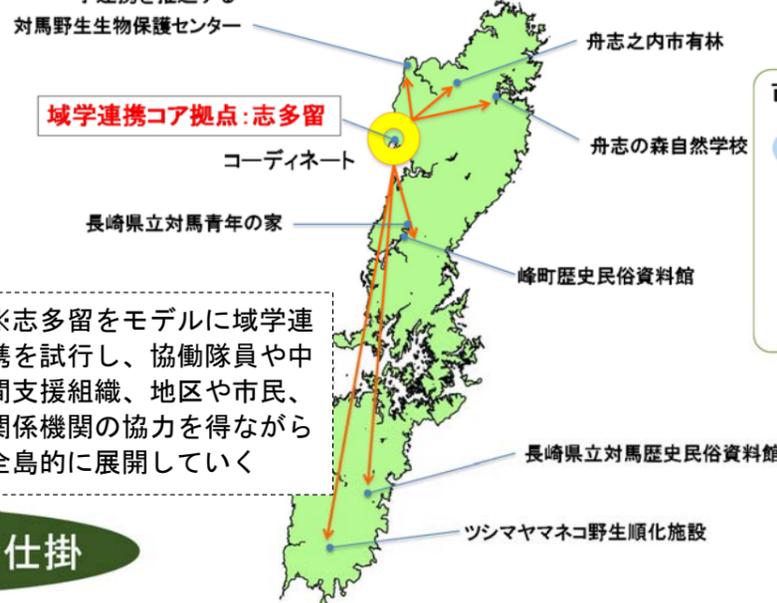
基盤づくり期

【H26-28年度】

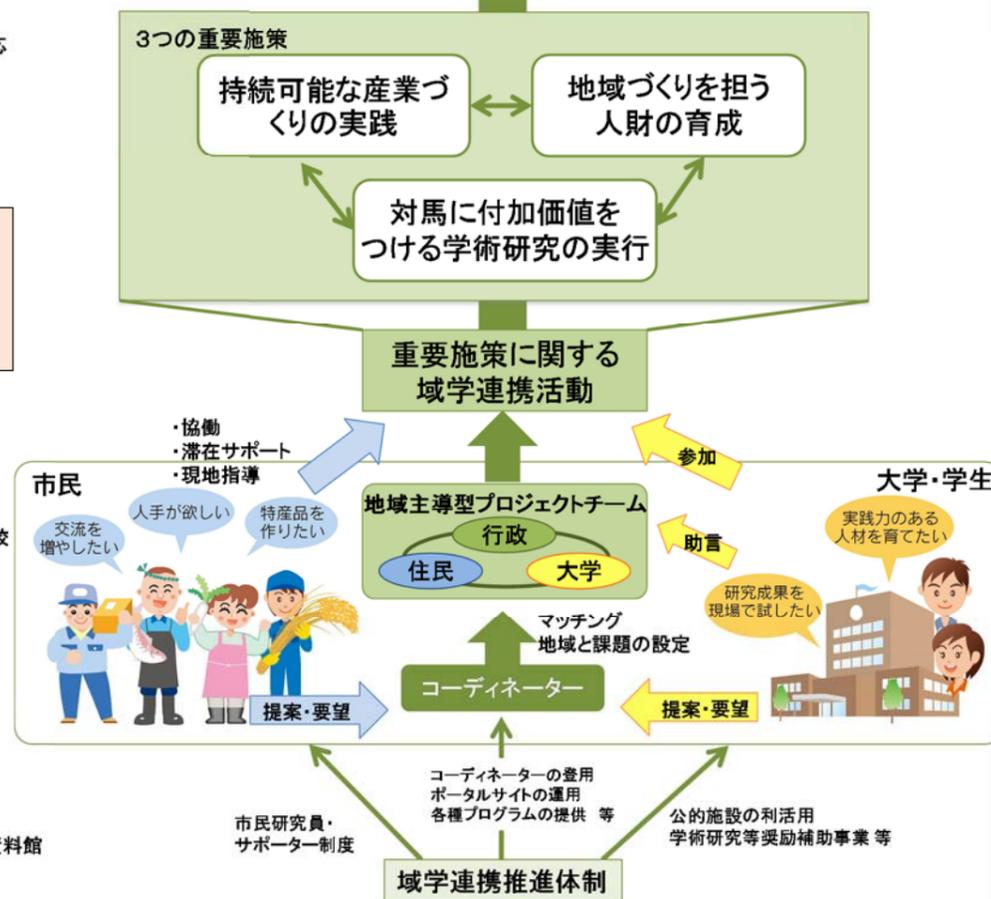
- ・学生等の活動滞在のためのコア拠点や受入体制を整備し、域学連携コーディネーターや島おこし協働隊員が仕掛人となり、域学連携を推進する

- ◎総合計画
- ◎地域づくり計画
- ◎政策分野別計画

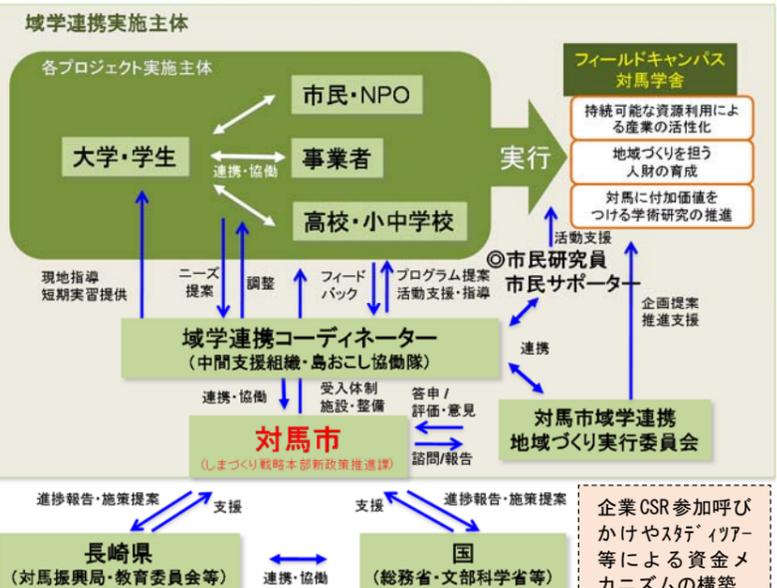
整合



※志多留をモデルに域学連携を試行し、協働隊員や中間支援組織、地区や市民、関係機関の協力を得ながら全島的に展開していく



計画の実現に向けて: 推進体制



実現のために、

企業CSR参加呼びかけやステイター等による資金メカニズムの構築